

6/24・27 南と北で連鎖行動

大津の行動に12人 湖北の行動に18人

大津の人たちも 統廃合に関心



6月24日は、県内縦断行動の2日目。この日は午後1時から、高教組の西村さん、全教滋賀の田中政秀さん、明るい会の節木さんが、宣伝カーで大津市北部を中心に回り、各所で演説、「統廃合計画の中止」を訴えました。

夕方6時からは、石山駅のテラスに、高教組から7人(石山2、東大津1、

瀬田工1、大商1、本部2)、全教滋賀1人、明るい会1人の計9人が集結。チラシを配布し、地声で署名を呼びかけました。チラシを受け取る人が多く、用意した300枚のチラシが50分で無くなり、52人が署名に応じました。

全県一学区の導入で「大津の子が大津の高校に行けない」。この現実を知らされた大津の人たちは、それをさらに促す統廃合問題にも強い関心を示しています。この日の行動には、飛び入りの新聞記者を含めて延べ12人が参加しました。

長浜駅で128人が署名

27日は、湖北の行動日。午後、高教組の岡本さん、明るい会の辻さん、全教滋賀の石田さんが、高教組の宣伝カーに乗り込みました。旧長浜市を中心にして、北は虎姫高校の周り、東は伊吹高校の周りまで繰り出して、辻々で演説しました。

夕方6時、長浜駅前の行動には16人が駆けつけました。高教組8人、母親

駅前の宣伝・署名行動に参加を (18時～19時)
6月30日(木)八幡・東近江地域 八幡駅サティ側

知事向けの署名
(ピンク色)続行中!
締切は7月5日(火)

連絡会5人、全教2人、年金者組合1人です。高教組の岡本さん、対月さん、馬淵さんがマイクを握り、「廃校になる湖北の高校が実名入りで発表される」との情報を報告すると、何人かの人が真剣な様子で話を聞いていました。客

待ちをしているタクシーの運転手も耳を傾けていました。湖北では、多くの市民が統廃合のことを知っており、こまかい説明はしなくても、多くの人が署名します。人通りが少ないにもかかわらず、200枚のチラシが配られ128人が署名に応じました。この日の行動には、延べ18人が参加しました。

28日(火)には、甲賀湖南の宣伝が行われました。



ストップ高校統廃合 2011年度速報第6号
2011/6/29 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして配布、回覧、また掲示板に貼るなどして下さい)